

学生ら協力しアート作品

日福大 20年度入学者に交流の機会



交流を楽しみながら色を塗る学生たち＝いずれも美浜町の日本福祉大美浜キャンパスで



学生たちとアーティストで描き上げた作品

日本福祉大(美浜町)で三月二十九日、二〇二〇年度に入学した学生らが協力して、アート作品を仕上げる催しがあった。新型コロナウイルス禍で、学生生活を通じて仲間をつくる機会が大幅に減ったことを受け、教職員と学生が合同で

企画した。

この学年の学生は、新型コロナが拡大し始めたころに入学した。通常なら開催する、新入生対象の宿泊型セミナーも中止に。その後、大半の講義がオンラインで実施されたため、この二年間、学生同士が交流する

機会が限られていた。

この日は障害福祉サービス事業所、PICFA(ピクファ、佐賀県基山町)の施設長で日福大OBの原田啓之さんを招き、イベントを開催。縦約一・八メートル、横約一・八メートルの真つ白なキャンバスを弾ませながら作業を進めた。

学生たちは楽しそうに話した。小塚敬太さん(二〇)は「友達がつくれる機会は少なかったけど、今日でつながりができた。楽しかった」と笑顔を見せた。出来上がった絵は今後、学内に飾る予定。(鈴木佐歩)